

尾瀬アヤマメ平山行報告

【山行日】2022年 5月 29(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 5,500円

【メンバー】CL:鈴木、 SL:関
青柳、石澤、廣瀬、

【コースタイム】岩舟支所 P4:00＝

戸倉 P5:35/5:50＝鳩待峠 6:15/6:30～横田代

7:40～中原山 8:20～アヤマメ平 8:30/8:40～

富士見峠 8:50/9:00～土場 9:20/9:30～竜宮

10:50/11:30～山ノ鼻 12:50/13:00～鳩待峠

13:40/13:50＝戸倉 P14:15/14:25＝道の駅「尾瀬かたしな」14:25/14:40＝岩舟支所 P16:30

アヤマメ平から見た雪山の絶景が忘れられず、もう一度見てみたいと思いこの時季に計画した。当初8名の参加申し込みがあったが、体調不良などでキャンセルが相次ぎ5名での山行となった。



岩舟支所を4時に出発し、北関東道から関越道を進み沼田ICで降りる。沼田から国道120号線を進み、鎌田で左折し国道401号線に入って戸倉の第一駐車場に着く。すでに駐車場は8割くらい車が止まっており、我々も急いで支度をして乗車券を購入しワゴンタクシーに乗り込む。20分程タクシーに揺られ鳩待峠に着き、トイレを済ませ鳩待峠休憩所でストレッチを済ませ出発する。鳩待荘の右から山道に入り、ブナの樹林帯の道を緩やかに登り始める。ブナの根が張る登山道を

登り、樹相が広葉樹から針葉樹になると木道が時々現れる。さらに登ると雪の上を歩くようになり、目印の赤テープを頼りに登って行く。

アイゼンはないが、小股のフラットフティングでゆっくり登って行く。

展望が効かない針葉樹林帯の雪道がしばらく続き、赤テープを追ってだらだらと登って行く。突然視界が開け雪原が広がり、中ノ原横田代に到着だ。後ろを振替ると至仏山から会津駒ヶ岳、平ヶ岳などの山々が素晴らしい。皆さん「ウワ～凄い、こんな素晴らしい景色が見られるんだ」と感動していた。そうなんです、残雪の時季しか見られないこの絶景が見たくて計画したのです。今までの疲れは忘れてしまい、歩きながら絶景をスマホに収める。



湿原を離れ再び樹林帯の中を登り、三等三角点が置かれた中原山山頂に着く。展望を楽しみながら



雪の斜面を下り、登り返すとアヤマ平に着く。池塘越に至仏山や燧ヶ岳が大きく見え、会津や越後の山々が素晴らしい。大きなベンチで休憩し、リンゴや菓子をいただきながら絶景を楽しむ。風も穏やかで寒くなく、登山日和に恵まれてとてもラッキーな山行である。絶景を楽しんだら富士見峠に向かい、富士見小屋でトイレ休憩を取る。

現在富士見小屋は使われておらず、建屋は半分崩れ落ちていた。ここから北に向かって少し登り、小田代と呼ばれる小湿原を通して

緩やかに下って行く。残雪の登山道をトレースを外さないよう注意して下り、少し開けた土場に着き

ベンチで休憩する。この先から急傾斜の雪道を下るようになり、滑らないよう慎重に下って行く。トレースもはっきりせず、先行のグループは何回も滑ってコケていた。やがて岩と雪が交互に出るようになり、木の根や岩を手掛かりにして慎重に下って行く。広葉樹の森に入ると雪も無くなり、長沢を渡ると平坦な道を歩くようになる。小沢に沿って木道進むと尾瀬ヶ原に出て、水芭蕉やリュウキンカの花が出迎えてくれる。少し先で大勢のハイカーが山側を見て騒いでいる。近づく



すぐ先の山にツキノワグマがいて、皆さんカメラやスマホで熊を撮っている。

シカ避けネットがあるため木道までは来られず、皆さんも安心して撮っているようだ。水芭蕉の大群



落に皆さん大喜びで、こんなに凄い初めての見ると写真を撮りまくっていた。やがて竜宮の大きなベンチに着き、ベンチの一角でランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。至仏山や燧ヶ岳、水芭蕉の絶景を見ながらのランチは格別に美味しかった。ランチが済んだら竜宮小屋まで行き、トイレを済ませたら山ノ鼻に向かって出発する。至仏山と周囲の森の芽吹き、水芭蕉とリュウキンカの花、いかにも尾瀬らしい景色を見ながら木道を

歩いて行く。下ノ大堀川のビューポイントで水芭蕉と至仏山をカメラに収め、木道を歩いて山ノ鼻に着く。大勢のハイカーが休憩しているので、鹿避けネットをくぐって至仏山へ向かう木道のベンチで休憩を取りおやつをいただく。

至仏山や水芭蕉を見ながら最後の休憩を取り、トイレを済ませたら鳩待峠に向かう。最後が登りになるのが尾瀬ヶ原の特徴で、木道や木段をひたすら登って行く。ツアーの団体をいくつも抜いて行き、1時間足らずで鳩待峠に着き乗り合いタクシー券を購入する。駐車場まで移動し、ワゴンタクシーに乗って戸倉の駐車場に着く。靴を履き替えたなら車に乗って帰路につく。途中、道の駅「かたしな」に寄って買い物し、予定より1時間以上早く岩舟支所に帰着した。我輩が願っていた絶景を見ることが出来、大満足の尾瀬アヤマメ平山行となった。

